

実績確認概要書

平成 29 年 1 月 16 日

ビューローベリタスジャパン株式会社

神原ロジスティクス福山物流センターにおける
太陽光発電設備の導入による CO2 排出削減事業

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	神原ロジスティクス福山物流センターにおける太陽光発電設備の導入による CO2 排出削減事業
プロジェクト番号	KC1008
排出削減事業者名	神原ロジスティクス株式会社
排出削減共同実施事業者名	カーボンフリーコンサルティング株式会社
事業実施場所	神原ロジスティクス株式会社 神原ロジスティクス福山物流センター (住所：広島県福山市箕沖町 109 番地 5)
事業の概要	物流センターの屋根に太陽パネルを設置し、太陽光発電を行い、その電力を施設内で使用することにより、温室効果ガス排出量の削減を図る。
排出削減量の計画	2012 年度 122tCO2 (国内クレジット制度事業実施期間合計 122tCO2) 2013 年度 167tCO2 2014 年度 166tCO2 2015~2019 年度 164tCO2/年 2020 年度 41tCO2 (J-クレジット制度事業実施期間合計 1194tCO2) ※全電源 CO2 排出係数の場合 (参考値) 2012 年度 70tCO2 (国内クレジット制度事業実施期間合計 70tCO2) 2013 年度 169tCO2 2014~2019 年度 164tCO2/年

	2020年度 41t-CO2 (J-クレジット制度事業実施期間合計 1194t-CO2)
クレジット認証 期間	開始日 2012年7月1日 終了予定日 2020年6月30日
排出削減方法論	方法論番号 008「太陽光発電設備の導入」

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2016年6月30日（第2回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	527tCO2 (2013年4月1日～2016年6月30日)
-------	-----------------------------------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 第2回目実績確認のため、該当なし。 2) 対象期間中の設備稼働確認 導入した太陽光発電設備は実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における太陽光発電システムの発電量の計測値等により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 事業者への質問、電力計による発電量及び電力会社の購入伝票による売電量の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、ベースライン電力使用量のモニタリングが実施されていることを確認した。 2) 活動量の正確性 事業者への質問、電力計による発電量及び電力会社からの購入伝票による売電量の確認により、承認排出削減方法論及び

	<p>承認排出削減事業計画通り、ベースライン電力使用量の記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 承認排出削減事業計画通りのモニタリング対象指標がリストアップされ、使用されている排出係数等がJ-クレジット制度のモニタリング算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver2.5によるデータであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
算定期間が移行期間内であること	本実績確認の対象期間は、2013年4月1日から2016年6月30日までであり、排出削減量を算定した期間が移行期間内であることを確認した。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

排出削減事業者の変更

（旧事業者） 神原汽船株式会社

（新事業者） 神原ロジスティクス株式会社

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する再生可能エネルギー利用量について、エネルギー使用量938,406kWhであることを確認した。

以上